

# 協議会ニュースレター No.1 2022/05/06

「教育・発達」心理資格連絡協議会

## 「協議会ニュースレター」を刊行します

「教育・発達」心理資格連絡協議会(略して協議会)では、企画したシンポジウムでの知見などを参加学会・資格団体の皆さんと共有するために「ニュースレター」を発刊することになりました。

日本の教育・発達分野の心理支援をより良くしてゆくための情報を発信してゆきたいと思えます。

No.1 では、2022年3月13日に行われた日本発達心理学会・第33回大会・ポストカンファレンス・シンポジウムについて報告します。どうぞよろしくお願ひいたします。

2022年4月3日

「教育・発達」心理資格連絡協議会代表  
石隈利紀（東京成徳大学）

## 「教育・発達」心理資格連絡協議会とは？

教育・発達分野の心理的支援のニーズを有する子どもへの支援の心理士の専門性の向上のために、学校心理士、臨床発達心理士、特別支援教育士関連の17学会と団体（\*）が参加し、情報交換やシンポジウムなどの研修会を実施してきました（2009年発足）。特に国家資格・公認心理師において、国家資格化の経緯では「教育・発達」的観点の適切に位置づけられる様に政府・議員・行政等に働きかけを行ってきました。今後、増加する不登校・いじめ・虐待・発達障害などの支援のためにも、「教育・発達」分野の専門性の向上に向けて政府・行政への働きかけ、有資格者への研修会を行ってまいります。ご支援・ご理解をお願いいたします。

2022年3月13日 日本発達心理学会・第33回大会・ポストカンファレンス・シンポジウム報告  
公認心理師における「教育・発達」的観点の意義と可能性  
—その3: 自閉スペクトラム症の理解と支援における「心の理論」の観点—

## 1. シンポジウムの概要

協議会 GooleDrive に、シンポジウム要旨と企画趣旨・話題提供者・指定討論者のパワポ配付資料(PDF)を添付しました。URLとQRコードは以下の通りです。

[https://drive.google.com/drive/folders/1EE9Jy4g\\_2F0wWwp8DKStFSjUqXNaiKos?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/1EE9Jy4g_2F0wWwp8DKStFSjUqXNaiKos?usp=sharing)

## 2. シンポジウムの話題提供と指定討論

<プログラム>

<趣旨説明> 長崎 勤(実践女子大学生生活科学研究科)



### <話題提供>

- 自閉スペクトラム症における「心の理論」発達研究の意義と展望：子安増生(京都大学名誉教授)
- 自閉スペクトラム症理解と「心の理論」：別府 哲(岐阜大学大学院教育学研究科)
- 「心の理論」は教えられるか？－自閉スペクトラム症児の発達支援との関係で－：藤野 博(東京学芸大学大学院教育学研究科)
- 自閉スペクトラム症児への他者意図理解の発達支援：吉井勘人(山梨大学大学院総合研究部教育学域)

### <指定討論>

- 児童精神科医学・医療臨床の立場から：清水康夫(横浜市総合リハビリテーションセンター)
- 「心の理論」の課題の困難は「障害」なのか 井上雅彦(鳥取大学医学系研究科臨床心理学)

## 3. シンポジウムを振り返って

参加された公認心理師やその他の心理専門職の方々と、「心の理解」「心の理論」をキーワードとした今後の自閉スペクトラム症(ASD)の方々との関わり方の方向性や問題意識を共有する時間となりました。

教育心理学、発達心理学などが中心に展開されてきた、日本での「心の理論」研究、ASDの「心の理論」発達・支援研究は、今後の発達心理学、教育心理学における「認知と非認知の止揚・脱構築」、発達や教育における「環境との相互作用」という重要な展望について、典型発達・教育研究にも示唆を与え、研究や支援方法の深化・進化を促す可能性が示されました。

医療分野、また応用行動分析学からの指定討論も議論を深めるのに有意義であり、今後の学際的な研究・支援の必要性と可能性も示されるシンポジウムとなりました。

- ・公認心理師協会、公認心理師の会、日本心理学諸学会連合、日本心理研修センターの各団体による後援を得たことの意義は大きい。今後の公認心理師会の連携の可能性も示された。
- ・リモートであったため、全国から参加ができるというメリットも大きかった。
- ・多くの質問、コメントが寄せられディスカッションに貢献した。

## 4. 参加者・資格更新研修ポイント付与

378名の多数の参加者(学校心理士 112名、特別支援教育士 41名、臨床発達心理士 150名)、また243名の公認心理師の参加者を得ました。またシンポジウムの中で、Q&Aも多数寄せられ、登壇者と活発なディスカッションがなされ、盛況で充実したシンポジウムとなりました。公認心理師における「教育・発達」領域へのニーズと関心の高さが伺われました。学校心理士、特別支援教育士、臨床発達心理士の資格更新研修会としての、共通の資格更新研修ポイント付与システムを検討・構築し、302名の有資格者にポイントを付与することができました。

## 5. 後援

日本公認心理師協会、公認心理師の会、日本心理学諸学会連合、日本心理研修センターから後援が得られた。

< \*「教育・発達」心理資格連絡協議会参加団体(17 団体) >

日本応用教育心理学会、一般社団法人日本発達心理学会、一般社団法人日本教育心理学会、日本感情心理学会、日本学校心理学会、一般社団法人日本特殊教育学会、日本コミュニケーション障害学会、一般社団法人学校心理士認定運営機構、日本学校心理士会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構、日本臨床発達心理士会、一般社団法人日本LD学会、一般財団法人特別支援教育士資格認定協会、日本学校カウンセリング学会、日本生徒指導学会、日本質的心理学会、日本 K-ABC アセスメント学会

協議会ニュースレター No.1 2022/05/06 発刊

発行:「教育・発達」心理資格連絡協議会 代表:石隈利紀

事務局長:長崎 勤

「教育・発達」心理資格連絡協議会・事務局: 日本発達心理学会  
事務局内

メールアドレス: [office@kyouiku-hattatu.com](mailto:office@kyouiku-hattatu.com)